



Deasy Care 一度に 10 個の紙おむつ処理が可能に イノベーションセンターの開設を前にボリュームタイプを発表



Deasy Care プロジェクトでは使用済紙おむつ前処理を行うデージーケアにおいて、使用済紙おむつの投入量をこれまで仕様としてきた 2 個から 10 個へと大幅に向上させたボリュームタイプを発表。

シンプルな操作、投入量を増やしてさらにシンプルに

DeasyCare は、使用済紙おむつの汚物を入れたまま破碎、中和、脱水して衛生的に減容する紙おむつ前処理を行う、紙おむつ破碎システム。今回、1 回あたりの処理能力を従来の 2 個から 10 個へと大幅に向上させました。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社ヘリオス 担当：林/井上 TEL：046-887-2011 MAIL：omutsu@deasy-care.jp

これまで Deasy Care は、1 回の処理で投入できる使用済み紙おむつを 2 個までとしていましたが、破碎ユニットのカッター部を改良し、動力を変更することなく一度に最大 10 個の投入も可能としました。

これまでは「200V に動力変更したうえでなら処理ができる可能性がある」としていたポリュームの大きい投入を、破碎機専門メーカーの知見を活かし 100V の動力のまま可能にしました。

従来通りの 2 個ずつの投入にももちろん対応しており、たくさんのご要望の声に応え、施設によって違う業務フローに柔軟に対応した形です。

ポリュームタイプの操作もこれまでどおりにシンプル。汚物が入ったままの紙おむつを投入してスタートするだけ。10 個の紙おむつが入った大きなごみ袋のままで一気に投入 OK なのもユーザーにはうれしい仕様です。あとは DeasyCare が自動で処理を進めます。従来と違うのは、内部の動きだけ。内部では 2~3 個分ずつ順に破碎・中和・脱水を繰り返し特に操作は必要ありません。2 個ずつ投入する場合と変わらず、約 30 分後には処理が完了します。

投入以降はスタッフが付き添う必要はないので、操作回数が減ることになります。

介護・保育の現場での、おむつ処理にかかるスタッフの時間と手間。ポリュームタイプでは紙おむつをまとめて投入してその場を離れられるようになったことで、現場の業務負担をより軽減できると考えています。

たくさんの方にお待ちいただいている DeasyCare イノベーションセンターでは、このポリュームタイプも実際にご覧いただける予定です。イノベーションセンターも着々と準備進行中です。お問い合わせはお気軽にどうぞ。

デージーケアの今後の取り組み

今後、デージーケアプロジェクトでは、ショールーム兼研究開発拠点（ラボ）の設置、ならびに実証用機器の貸し出しによる現場実証を推進し、社会実装に向けた取り組みを加速してまいります。

<デージーケアイノベーションセンター>

・ 2026 年 5 月 神奈川県横須賀市横須賀リサーチパーク(YRP)内に開設
見学のご予約などは以下担当までお問合せください。

<デージーケア実証用機器貸出>

実証用機器：2026 年度 10 台準備
実施期間：2026 年 6 月よりご要望のある施設で実施を予定
詳細は以下担当までお問合せください。

問合せ先：omutsu@deasy-care.jp
046-887-2011

担当：林/井上

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社ヘリオス 担当：林/井上 TEL：046-887-2011 MAIL：omutsu@deasy-care.jp

株式会社ヘリオスについて

破砕機専門メーカー。様々なタイプのごみが混合する一般廃棄物の破砕を得意としており、大型から超小型まで独自設計の破砕機を現場ごとにカスタマイズして提供する。少数精鋭の設計力が特徴。

プラントの一部としての破砕機を提供するメーカーとして一貫したシステムの開発は異色。

【会社概要】

社名：株式会社ヘリオス

本社所在地：神奈川県三浦市南下浦町菊名 1247-49

代表取締役：林 卓一

事業内容：環境機器の設計・販売・研究開発

設立：1973年

Deasy care WEB：<https://helios-inc.co.jp>

Corporate Site：<https://helios-inc.co.jp>



<https://deasy-care.jp>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社ヘリオス 担当：林/井上 TEL：046-887-2011 MAIL：omutsu@deasy-care.jp